

特定非営利活動法人
気象キャスターネットワーク

活動報告書

2009年



2010年2月20日 作成

NPO法人 気象キャスターネットワーク

〒110-0002

東京都台東区上野桜木1-14-21 高遠レジデンス上野桜木 202号室

TEL : 03-5832-9401 FAX : 03-5832-9402

MAIL: info@weathercaster.jp

目 次

1. 挨拶	2
2. 会員数とネットワークの拡大	3
3. 2009 年総会・懇親会	4
4. 2009 年に戴いた表彰	7
5. 環境教育社会貢献活動	8
(1) 出前授業活動	8
(2) イベント活動	15
(3) 日本財団助成事業 海の安全コンテンツ作成	29
(4) WWF エコパートナーズ活動	30
6. 気象教育活動	31
(1) 気象キャスター育成講座	31
(2) 講座・研修会・見学会	33
7. 会員による講演活動	35
8. 2010 年の活動予定	37
9. 事務局だより	38

1. 挨拶



平井 信行
代表

お蔭様でNPO法人気象キャスターネットワーク（WCN）が発足して6年が経ちました。皆様には重ね重ね御礼を申し上げます。

振り返ってみれば、私が会社から独立した2003年、藤森副代表や岩谷事務局長と何度も話し合いをするうちに、気象キャスターの地位向上と活動領域を拡大できるような組織を立ち上げよう！となったのがWCNのきっかけでした。

気象キャスターネットワークの「ネットワーク」とは、ご存知の通り多数の放送局を結んだ組織のことです。皆様が放送局の垣根を越え、理念に基づき手を取り合って活動した結果、2009年度も気象庁長官賞を始めいくつかの賞を頂くことができました。

今年度はWCNの原点を再確認すると共に、新たな一步を踏み出すことができますよう、皆様のご支援、ご協力を賜ればと存じます。何卒、宜しく願いいたします。



藤森 涼子
副代表

CO2 25パーセント削減目標に向けて、今年から「チャレンジ25キャンペーン」がスタートしましたが、そのキックオフイベントを前に気象キャスターへ、地球温暖化のメッセンジャーでありチャレンジ25応援団のメンバーとして、襷の授与式がありました。会の活動で温暖化防止の環境教育を始めてからずっと、気象キャスターは地球環境のメッセンジャーであると言い続けて数年、やっと私達の活動が認められたという思いで、環境大臣から襷を頂いた時に、少しウルッと来た私です。たまたま襷を受け取ったのは、在京のキャスター10数人でしたが、これは当会の環境教育に関わっている会員全員が受け取ったものと思っています。これからも、「地球環境のメッセンジャー」として会員一丸となって活動していきましょう！そして今年も更に活動の場を広げられるように、私も事務局の一員として頑張ります。

2. 会員数とネットワークの拡大

2009年12月末の会員数は正会員109名、一般会員45名、賛助会員1名です。前年度と比べて15名増えました。2010年も全国の会員の皆様にご参加いただけるような勉強会やイベントの企画を練っていきます。ご要望や企画のご提案などがございましたら、お気軽に事務局へご連絡ください。

総会に参加した会員の皆様



東海地方から



関西地方から



中国地方から



九州から



関東地方から

3. 2009年総会・懇親会

2009年2月21日、気象キャスターネットワーク2009年定期総会が行われました。会員41名、一般会員5名、計46名の皆様にご出席いただきました。総会では、2008年の活動報告や2009年の事業計画等についてご説明させていただきました。2008年は札幌・大阪・広島などでイベントを実施するなど地方の活動が飛躍的に盛んになりましたが、2009年はさらに地方活動を強化し、地方開催のイベントや講座を行っていく方針を示させていただきました。また総会と同時に、翌22日にかけて講演会や研修を行いました。講演会では、地球温暖化研究の最先端にいらっしゃる先生方から熱意あふれる話を聞くことができました。

<出席人数>

	総会	懇親会	講演1部	講演2部	講演3部	講師研修会
正会員	41名	42名	47名	47名	38名	34名
一般会員	5名	6名	11名	11名	2名	—



<懇親会・二次会>

懇親会には、正会員42名、一般会員6名、ご来賓8名、計56名の皆様ご出席いただきまして、盛大なる会となりました。二次会は南国風居酒屋でおこない、懇親会とは違った和気あいあいとした雰囲気では盛り上がりました。



<講演会の内容>

特別講演会（第1部）「宇宙から見た地球環境の変化」

講師：寺澤勝也氏

宇宙航空研究開発機構(JAXA) 宇宙利用ミッション本部 事業推進部 計画マネージャー

特別講演会（第2部）「地球温暖化の最新情報」

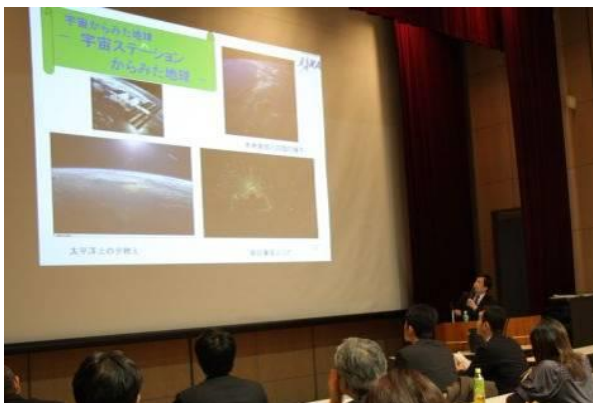
講師：石原幸司氏

気象研究所 気候研究部 主任研究官

特別講演会（第3部）「地球温暖化の影響について」

講師：肱岡靖明氏

国立環境研究所 社会環境システム研究領域統合評価研究室 主任研究員



JAXA 寺澤勝也氏の講演



気象研究所 石原幸司氏の講演



国立環境研究所 肱岡靖明氏の講演

<講師研修会の内容>

1. シャープ株式会社 地球温暖化出前授業の概要
 - ① 2009年度の概要説明、講師の意見交換、現状の問題点など
 - ② シャープ株式会社 阪井嘉英氏、岡田淳氏 授業概要のご説明

2. 講師会員 杉山範子さん COP14の報告



研修の様子



杉山範子さん COP14の報告

■感想

鈴木 晶子さん

気象キャスターネットワークの総会は、気象業界を活性化し子供たちに気象や温暖化に対する知識を持ってもらうという共通認識のもと集まった全国のキャスターの皆様と意見交換できる貴重な機会です。皆様とお話させていただくことで刺激を受けて、今後一層勉強を重ね、日常の活動においてさらにいいものを作っていこうという気持ちが高まりました。今後ともよろしく願いいたします。

4. 2009年に戴いた表彰

① 「気象庁長官賞」受賞（2009年6月）

第134回「気象記念日」に気象行政の推進に寄与した団体として受賞しました。

地球環境や気象の教育及び防災知識の普及・啓発活動を積極的に行い気象業務の健全な発展に寄与した功績を評価していただきました。



② 「グリーン購入大賞」受賞（2009年10月）

シャープ株式会社と協働で2006年10月から実施している「小学校環境教育」が、第11回グリーン購入大賞において、大賞(大手企業部門)を受賞しました。



③ 電気新聞「エネルギー教育特別奨励賞」受賞（2009年11月）

電気新聞の第4回「エネルギー教育賞」において「エネルギー教育特別奨励賞」を受賞しました。学校などへのエネルギー教育活動で貢献を評価していただきました。



5. 環境教育社会貢献活動

(1) 出前授業活動

2009年の出前授業活動には、シャープ株式会社・日産自動車株式会社・大塚製薬株式会社から協賛をいただきました。全国の会員の皆様に講師をしていただき、一年間に合わせて522校の小学校で出前授業を行いました。

2009年に実施した出前授業

(2009年1月～12月の実施数)

シャープ株式会社協働による学校環境教育	482校 (2009年度508校見込)
日産自動車株式会社協働による学校環境教育	30校 (2009年度 34校見込)
大塚製薬株式会社協働による紫外線熱中症予防授業	3校
神奈川県	1校
三鷹市	4校
東京都環境局芝生授業	2校

① シャープ株式会社協働による学校環境教育

◆ 受講生徒数まもなく10万人に

2009年はシャープ株式会社協働による学校環境教育を482校の小学校で行いました。2006年10月に開始して以来の累計実施校はのべ1505校になりました。受講生徒数は2010年早々に10万人を超える予定です。この学校環境教育を年間授業計画に組み込んでくださる小学校もあり、継続的な活動として定着してきています。今後も子どもたちが地球環境保護などに関心を持つ機会として継続して取り組んでいきます。



◆ 新講師10名誕生！

2009年は11名の気象キャスターやその経験者の方に新たに講師として参加していただきました。東京で9名の新講師が誕生したほか、北海道、関西でも1名ずつ新講師として活動に加わっていただきました。全国的に幅広い活動を継続できているのも、会員の皆様のご協力のおかげと大変感謝しております。今後とも何卒宜しく願いいたします。

■ 新講師の感想

浅川 かがりさん

小学校の環境授業に実際に担当させて頂いて、『地球温暖化』という言葉をよく耳にはするけれどよくわからない、CO₂の増加が何で問題になっているのかよくわからない、とにかく難しい・・・という子供たちが多いように感じました。

ただ、聞けば子供たちも知らないとはいえ省エネなどCO₂削減の生活は行っているのです。この授業を通して、自分たちの行動が自然環境に関わっていることを理解してもらえればと思っています。また、楽しみながら参加できる実験や最近の異常気象を含めた身近な天気の話などから、より多くの子供たちが自然環境に関心を持ってもらえればうれしいです。



◆ イベントの実施

2009年は学校の教室を飛び出して、各地の様々なイベントでシャープ株式会社と協働の環境授業を行いました。「中部エネルギー&環境学習セミナー」では、愛知県内の小中学校の先生や教育関係者、保護者を前に授業を行い、先生方や教育の専門家の方と意見交換をすることができました。また、大阪・岸和田市の「シャープの森」で行った野外環境教室は、里山の中で自然散策をしながら環境授業を行うという新たな試みでした。

<2009年に行ったイベント>

理科教室in秋葉原、秋葉原エコ教室（5月～12月に4回実施）

大阪湾エコクルージング（6月20日）

大阪・岸和田市 シャープの森・野外環境教室（8月1日）

夏休みこども自由研究in沖縄コンベンションセンター（8月1日、2日）

さかいキャンドルナイト（8月9日）

さかいっ子環境フェスティバル（11月26日）

中部エネルギー&環境学習セミナー（11月28日）



大阪湾エコクルージング



夏休みこども自由研究in沖縄コンベンションセンター



シャープの森・野外環境教室



中部エネルギー&環境学習セミナー

■シャープの森 野外環境活動 講師体験談

依田 司さん

8月1日に大阪岸和田にある「シャープの森」で野外環境教室が実施されました。テーマは「自然共生社会実現のための生態系保全」。「森の役割や重要性」、「人との関わり」、「気候に与える影響」を実際に森の中で五感を駆使して体験してもらいました。WCNでは「ヒートアイランドと森（自然）の役割」、シャープは「森の生態系」について、それぞれ座学と自然散策を行いました。13名の参加者は教室では教わることの出来ない「気づき」や「発見」が沢山あったことと思います。



◆ 聴覚支援学校での授業

もう一つ2009年からの新たな試みとして、聴覚支援学校での授業を始め、2009年は4校で実施しました。手話の挨拶から始まり、授業は先生に手話通訳してもらいながら、ゆっくり丁寧に分かりやすく進めるように心がけました。2010年も聴覚支援学校での授業を全国的に校数を増やして実施する予定です。



■ 聴覚支援学校授業 講師体験談

吉村 真希さん

緊張しながら手話での自己紹介を練習していると、そこへ子供たちがやってきました。スクリーンの前に私、隣には手話の通訳をしてくださる先生。ゆっくり語りかけると、子供たちは目を輝かせながら私の一言一言を見逃さないように頑張ってくれました。耳が不自由なことをカバーして余りある集中力と感受性で、授業内容の細部にいたるまで理解してくれたように思います。子供たちの純粋さ切実さに触れて、温暖化について伝えることの重要性和この子らのために今何ができるのかを改めて考えることができる授業でした。

◆ グリーン購入大賞を受賞

シャープ株式会社と協働で2006年10月から実施している「小学校環境教育」が、第11回グリーン購入大賞において大賞(大手企業部門)を受賞しました。年間500校で授業を行い、2008年12月には累計実施校数1,000校を達成した取り組みなどを評価していただきました。

② 日産自動車株式会社と協働の出前授業 ～日産わくわくエコスクール～

日産自動車株式会社と協働の出前授業「日産わくわくエコスクール」は、2008年からスタートし、2009年も神奈川県厚木市・横浜市を中心に30校で授業を行いました。

◆ 実施校

2009年1月～12月に30校の小学校で実施。（神奈川県28校、東京都2校）

2009年度内では34校実施の見込み。

◆ 授業内容

1時限目 最近の気象と地球温暖化について（WCN講師が担当）

呼吸の二酸化炭素濃度を測ったり、一人一日当たり呼吸で出す二酸化炭素を風船で実感したり、実験を交えながらの授業です。



2時限目 燃料電池キットカーの組み立て（日産社員の方が担当、WCN講師・アシスタントもお手伝い）

キットカーを二人一組で組み立てて水素を吸入して走らせます。みんなでレースもしました。



3時間目 未来のくるま、水素と酸素で動くCO2を出さない燃料電池車燃料電池自動車「X-TRAIL FCV」に試乗。（日産社員の方が担当）校庭を燃料電池自動車が生徒を乗せて走りまわります。



■講師体験談

田辺 希さん

「ぼくは、希さんの話を聞いて地球を救いたいと思いました」。

これは、小学5年生から届いた出前授業の感想文の一節です。このひと言に感動し、気持ちが引き締められました。わたしが伝えたかったことが子供たちの心に届き、受けとめてくれたことがとてもうれしく、このような機会に恵まれたことに心から感謝しています。

出前授業の講師を担当させて頂いてから半年あまり。はじめは講師など私に務まるのか不安でしたが、子供たちのキラキラした瞳や素直な反応に感激して、今ではすっかり出前授業ファンです。授業中、子供たちの熱心な姿勢に驚かされ、感心させられることが多々あります。ワイワイと楽しく学ぶところ、今日のポイントとして真剣に聞くところなど、内容によって瞬時に子供たちの表情が変わります。それを肌で感じる事ができるこの授業は、私にとって大切な時間です。子供たちの真剣な姿勢に負けないように、正確な知識をわかりやすく伝えることができるように、努力していきたいです。

③ 大塚製薬株式会社協働による熱中症・紫外線予防出前授業

2009年度からの新たな取り組みとして、大塚製薬株式会社と協働で熱中症・紫外線予防の出前授業を始めました。2009年はモデル授業として東京都の3つの小学校で授業を行いました。2010年度から本格的に活動を開始し、30校の実施を予定しています。

◆ 授業内容

1時限目 【座学】紫外線と熱中症のしくみ、体への影響について
(WCN講師35分、大塚製薬社員の方10分担当)

2時限目 【実験】紫外線の強さや、温度、暑さの指数を測ってみよう
紫外線強度計、WBGT計、放射温度計を生徒に渡して、校庭で観測をします。
日傘のUVカットを確かめたり、暑くなったビニールテントを体験したりします。



■ 講師体験談

鈴木 秀美さん

大塚製薬様と協働で、9月に都内の小学校で6年生を対象に熱中症&紫外線の出前授業を行いました。太陽は何色?紫外線とは?日焼けのメカニズムや暑さと熱中症についてなど、いつもの温暖化授業とは全く違うコンテンツで、私自身とても新鮮でした。授業の後半は校庭に出て、実際に紫外線と熱中症指数、温度の観測です。当日は薄曇り。日照がないと面白さも半減なので祈るような気持ちでしたが、次第にくっきりとした太陽が顔を出してくれて、子供達も大喜び。湿度によって熱中症指数が変わること、色や材質で照り返しの温度が変わること、自分たちの紅白帽とUVカットの帽子とでは紫外線の量が違うことなど、驚くほど積極的に楽しそうに観測していました。5~9月の期間限定コンテンツですが、来期も機会があったら是非やりたい授業です。

(2) イベント活動

2009年は多くの企業・団体から協賛をいただき、全国各地で様々なイベントを開催しました。各地で活躍する気象キャスターに参加していただき、幅広い活動を展開することができました。

5月 TBS グリーンウィーク ～あしたの地球（アース）～

6月 エコライフ・フェア2009（東京都環境局委託）

お天気キャスターと学ぶ「空の不思議と温暖化、そして身近なエネルギー」（東京電力株式会社共催）

MAP みえこどもの城 エコイベント「集まれ！エコっと隊」

※9月にも開催

7月 お天気キャスターと楽しみながら学ぶ「地球温暖化とエネルギー」（電気事業連合会共催）

※8月にかけて新居浜、東京、富山、福岡で実施

地球と宇宙の環境科学展～消えた生き物の謎と秘密～（日経BP社主催）

夏休みこども環境学習講座「気象予報士に学ぶ ストップ地球温暖化」（品川区主催）

8月 なごや環境大学 親子講座

TBS 新江ノ島水族館エコイベント「海から学ぼう 地球の恵み」

夏休み環境教育（伊藤忠商事株式会社主催）

9月 羽生地球環境学校

10月 広島市スポーツレクレーションフェスティバル

まなびピア埼玉2009

12月 エコプロダクツ2009

※シャープ株式会社協働のイベントは出前授業活動とまとめて記載しました。

① お天気キャスターと楽しみながら学ぶ「地球温暖化とエネルギー」

(電気事業連合会共催)

2009年も電気事業連合会との共催イベントを行いました。2009年は、愛媛県新居浜市や富山市、福岡市といったこれまでイベント等をしたことのない地方での開催になりました。地元の気象キャスターやアナウンサー、東京・名古屋の会員、各地方の電力会社などが力を合わせてのイベントとなり、新たな交流の輪を広げることもできました。

◆ 日時・場所

- 2009年 7月18日(土) 愛媛県新居浜市 銅夢(どうむ)にいほま
【講師】 (午前) 岩谷忠幸さん (午後) 根本美緒さん
- 2009年 7月31日(金)～ 2日(日) 東京 科学技術館 「青少年のための科学の祭典2009全国大会」
【講師】 8月 1日 (午前) 田代大輔さん (午後) 関嶋梢さん
8月 2日 (午前) 藤森涼子さん (午後) 半井小絵さん
- 2009年 8月 9日(日) 富山市 北陸電力 エネルギー科学館 (ワンダー・ラボ)
【講師】 (午前) 湊岡友美さん (午後) 大隅智子さん
- 2009年 8月30日(土) 福岡市 九州電力 九州エネルギー館
【講師】 (午前) 湊岡友美さん (午後) 吉竹顕彰さん

◆ 内容 ○講演

身近な気象の話題を導入に、地球温暖化や二酸化炭素などについて、簡単な実験や遊びを取り入れながらの講演。実験の説明担当の気象キャスター数名を加え、盛り上げながら楽しく進行。

○トークショー

現地電力会社の方との掛け合いでエネルギーやベストミックスなどについて説明。

○体験コーナー

天気や温暖化、エネルギーに関する様々な実験を体験。



新居浜会場



東京・科学技術館



富山会場



福岡会場

■講師の感想

根本 美緒さん

7月に初めて参加させて頂きました根本美緒です。話をしている時の子供たちのいきいきとした表情、そして実験をして成功した時の笑顔がなんともかわいくてこちらが癒されて元気をもらって帰ってきました。また、個人では味わえない、みなさんとのチームプレイの楽しさに今回は愛媛だったので小旅行気分も合わさって、仕事を忘れて満喫させて頂きました。少しでもこの活動が子供たちの記憶の中に残ってくれたら嬉しいです。

■講師の感想

吉竹 顕彰さん

8月29日、夏休み最後の週末にもかかわらず、たくさんの子供たちが九州エネルギー館に集まってくれました。ステージイベントは、電事連様と WCN 事務局様の万全の準備のおかげで、初めて参加させていただいた九州在住の気象キャスターも安心して臨むことができました。

また、体験コーナーも非常に充実した内容で、イベント企画力の高さに感心いたしました。子供たちの真剣な眼差しと笑顔に励まされ、さらに一緒に参加されていたご父兄の皆様の関心の高さを実感しました。本当に皆さまに楽しんでいただいたイベントだったと率直に思いました。私自身、充実感いっぱいでした。

② TBSグリーンウィーク ～あしたの地球（アース）～ TBS 新江ノ島水族館エコイベント「海から学ぼう 地球の恵み」

5月、8月の2回にわたり、株式会社TBSテレビ主催のイベントで子ども向けの環境授業を行いました。5月は、ゴールデンウィーク中2日間に渡り、TBS赤坂サカス広場でステージを行いました。また夏休みの8月には、新江ノ島水族館のイベントで、海の温暖化についてのステージを行いました。

TBSグリーンウィーク ～あしたの地球（アース）～ エコBooと学Boo “温暖化ってなに？”

- ◆ 日時 2009年 5月 2日(土)、3日(日)
- ◆ 場所 赤坂サカス屋外ステージ
- ◆ 内容 司会：TBSアナウンサー 小林豊さん

アシスタント：鶴田由香さん

<紹介した実験>

- ・二酸化炭素の照射実験
- ・二酸化炭素濃度計で吐く息に二酸化炭素が含まれていることを確認
- ・一日一人あたり呼吸で出す二酸化炭素の量を風船を膨らませて実感
- ・手回し発電機で蛍光灯VS白熱球どちらが楽に点灯するかを体験



TBSエコイベント「海から学ぼう 地球の恵み」 エコBooと学Boo “海の温暖化を学ぼう”

- ◆ 日時 2009年 8月 1日(土)、2日(日)
- ◆ 場所 新江ノ島水族館
- ◆ 内容 司会：TBSアナウンサー 小林豊さん

アシスタント：鈴木秀美さん

<紹介した実験>

- ・水の二酸化炭素吸収実験
- ・海面上昇実験



■講師の感想

小林 豊さん

場所は江ノ島、ビーチに急ぐ海水浴客(みんな水着!)の足をどう止めるかが最重要課題でした。このため最後まで聞かなくてもわかるような単発コンテンツの連打とクイズの景品(アルミ製ドリンクボトル)をそのつど渡すなど事前のシミュレーションが功を奏しました。実際に近くの海で朝汲んできた海水を使っての昇温実験(一度暖めると海水温度は加熱をやめても温度が上がり続ける)や海水に二酸化炭素を吸収させる実験(吸収にも限度があるんだと実感!)は多くに人が足を止めました。更に新江ノ島水族館の飼育員の植田さんにもご登場いただき、付近に生息する貝を見せていただきながらのゲストトークあり、目の前に広がる海が地球の温暖化によってどのように変化しているのかを感じてもらいました。

③ エコライフフェア2009（東京都環境局委託）

東京・代々木公園で行われた環境イベント「エコライフフェア2009」に、東京都環境局からの委託を受けて参加しました。メインステージで、地球温暖化やヒートアイランド、芝生緑化についてのトークショーを行いました。また、東京都環境局のブースで環境ミニ講座も行いました。

◆ 日時 2009年 6月 7日(土)、8日(日)

◆ 場所 東京・代々木公園

◆ 内容 ○メインステージのトークショー
司会：岩谷忠幸さん
アシスタント：松並健治さん、中嶋美年子さん



○環境ミニ講座
講師：福川理恵子さん、鈴木秀美さん、
田辺希さん、水越祐一さん
・地球温暖化やヒートアイランドについて
(サーモグラフィーで温度を測定)



■講師の感想

福川 理恵子さん

今年度からWCNの活動に参加し、エコライフでは初日の環境ミニ講座を担当させて頂きました。この日は朝から生憎の雨、人は集まってくれるだろうか…。経験の少ない私、上手く説明できるだろうか…と、始まる前までは不安要素が満載でした。でも、実際には小さな子供から大人の方まで幅広い年齢層の人に来て頂き、熱心に耳を傾けてもらえました。幼稚園くらいの小さな子供達には、話が難しすぎて退屈するのでは?と思いましたが、一つ一つの問いかけに「地球温暖化って言うんだよ!」「二酸化炭素が増えてるんだよ!」などと元気いっぱい答えてくれ、一生懸命、真剣な目で聞いてくれました。とても楽しく講座をすることができ、私自身勉強になったことが盛りだくさんのイベントでした。

④ お天気キャスターと学ぶ『空の不思議と温暖化、そして身近なエネルギー』 (東京電力株式会社共催)

東京電力株式会社との共催イベントを電力館で開催しました。このイベントで大型地球儀ビーチボールを使った「二酸化炭素を減らそうゲーム」が初登場しました。地球儀ビーチボールに貼りつけてある「二酸化炭素シール」を一人一枚はがしながら玉運びゲームをします。子どもたちが講義の間に体を動かして参加できるゲームとして今後のイベントでも定番になりました。

◆ 日時 2009年 6月13日(土)

◆ 場所 東京・電力館

◆ 内容 メイン講師：湊岡友美さん
内容は、電気事業連合会共催イベントとほぼ同じ。



■講師の感想

湊岡 友美さん

「電力館」でのイベントは2回目。今回は、東京電力さんをはじめ、各方面との事前打ち合わせを入念に行っていたことで、安心して臨めました。実験コーナーは、キャスター側も、回を追うごとにスムーズに進行していけるようになりました。「二酸化炭素を減らそう」の新ゲームを投入したのも、このイベントです。子供たちは、体を動かせることもあって大喜び。今ではイベントに欠かせないコンテンツになりました。

準備から当日まで貴重な時間を過ごすことができ、東京電力さんや事務局の皆さんにとっても感謝しています。

⑤ MAPみえこどもの城 エコイベント「集まれ！エコっと隊」

三重県松阪市に「MAPみえこどもの城」というイベント運営・参加体験型の児童厚生施設があります。三重テレビ放送株式会社とともに幼児向けのエコイベントを提案し、6月の環境月間中に実施しました。これが大変好評で、こどもの城から「秋のシルバーウィークにも実施したい」との依頼を受け、内容を少し変更して実施しました。

「集まれ！エコっと隊！」

- ◆ 日時 2009年6月20日(土)
- ◆ 場所 MAPみえこどもの城
- ◆ 内容 講師：伊藤伸子さん、多森成子さん
<紹介した実験>
 - ・雲作り体験
 - ・手回し発電機で、電気を作ることの大変さを体験



「集まれ！エコっと隊！～みえこどもの城キャッスルバースデー～」

- ◆ 日時 2009年9月19日(土)
- ◆ 場所 MAPみえこどもの城
- ◆ 内容 講師：伊藤伸子さん、多森成子さん
<紹介した実験>
 - ・手回し充電自動車
 - ・一日一人あたり呼吸で出す二酸化炭素の量を風船を膨らませて実感

■講師の感想

伊藤 伸子さん

「みえこどもの城に提案するなら、幼児向けの企画でしょう。考えてみてよ。」

三重テレビの営業担当からそう言われたとき、昨年の総会で「事務局で幼稚園での出前授業をやってみた」と報告があったことを思い出した。私自身は小学校での出前授業しか経験はないが、事務局に相談すれば何とかなるかも…と思い、「やらせてください」と即答した。それが、苦悩の日々の始まりだった。

事務局に電話をし、昨年幼稚園で授業をされた田代さんからいろいろご教示いただいたが、聞けば聞くほど不安が募る。「幼稚園には先生がいて、ある程度は子どもをコントロールしてくれるけど、イベントとなるとどうか?」「先方は、1回あたり100人程度集めたいと言っているが、そんなに大勢の幼児を相手に授業が成り立つのか?」「そもそも、4～5歳くらい

の子どもって、『地球に住んでいる』ということを知っているのか？」等々。

多森さんとも相談の上、「何となくでいいから、『私たちが暮らす地球が病気になっている』ということ、『無駄遣いをしないでなんでも大切に使う』ということを知ってもらおう。もう少し大きくなったときに『あのとき聞いた話はこういうことだったのか』と思ってもらえればいいのでは？」そういう姿勢で授業をする方針と決めた。

イベント当日は、みえこどもの城の担当者も驚くほどのたくさんの親子が集まってくれた。三重テレビのキャラクターである「エムっとくん、ピっとちゃん」、みえこどもの城のキャラクター「シルル、チャーレ、しろぼ」にも登場してもらい、講師である私たちも楽しく授業をすることができた。

実は今回、「幼児に教える」ということがあまりにも不安だったため、6月のイベントの1週間前、私の娘（4歳）とお友だち数人の前で、デモ授業をやってみた。楽しそうに参加してくれたので、なんとかかなりそうだと手応えとともにイベント当日を迎えることができたのであるが、後日、娘のお友だちのお母さんからこんな報告を受けた。「最近、『誰もいないお部屋の電気は消さないとダメなんだよ』『水の出しっぱなしはいけないんだよね』と、よく言っている」というのだ。小さいときに身につけた行動パターンは、大きくなって変わらない。きっと、地球に優しい生活が当たり前という大人になってくれるに違いない。

いろいろと苦労はあったが、イベントを通して子どもたちの心に『エコの種』をまくことはできたように思う。

⑥ 地球と宇宙の環境科学展～消えた生き物の謎と秘密～（日経BP社主催）

日本科学未来館で行われた株式会社日経BP主催イベント「地球と宇宙の環境科学展～消えた生き物の謎と秘密～」で、「異常気象ってなーに？」と題して天気と地球温暖化の関係をテーマに出前教室を行いました。夏休み初めの小学生を対象に実施し、低学年向けと中・高学年向けの2回に分け、実験やクイズも交えながら進めました。低学年向けは雲作り実験を通してお天気の不思議を知ってもらい、中・高学年向けは二酸化炭素実験を用いて気温の上がり方を計測し地球温暖化を中心に考えてもらいました。それぞれ独自のワークシートを使いながら授業を行い、最後には地球温暖化の小冊子等を参加者にプレゼントしました。

◆ 日時 2009年 7月20日(月・祝)

◆ 場所 日本科学未来館

◆ 内容 講師：鈴木秀美さん

内容：小学生向けイベント「天気と地球温暖化について」

実験：二酸化炭素実験、雲作り実験

⑦ おいしく学ぼう！夏休み親子講座～地球温暖化と生物多様性をお米から考える～ なごや環境大学 2009 年度前期講座

市民・NPO・企業などが協働でつくる環境学習の場「なごや環境大学」。4 回目の参加となる今回は、2010 年に名古屋で生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）が開かれることもあり、地球温暖化に加え、様々な生物についても学んでもらいました。日本人の主食であるコメを通し、温暖化が食に及ぼす影響や、都市の中での水田の役割、またネイチャークラブ東海の篠田先生をお招きして、水田での生き物観察など体験型の学習を行いました。

◆ 日時 2009年 8月 2日(日) 10:00～16:00

◆ 場所 名古屋市港区 戸田川緑地 農業文化園 研修室および体験水田

◆ 内容 <講師>
杉山範子、大隅智子、早川敦子、山田修作（いずれも正会員）
篠田陽作（ネイチャークラブ東海）、金山有美、本橋祐美
<実験など>
・二酸化炭素の照射実験
・温暖化に関連したコメの試食
・水田周辺での気温計測



■ 講師の感想

山田 修作さん

座学・実験・フィールドワーク・試食・クイズと盛り沢山で、楽しい講座でした。それだけに、一日を通した参加が親子3組だけだったこと、また、あいにくの雨だったことが残念でした。

集客の宣伝方法は今後の課題です。しかし、フィールドワークは、さらに人数が増えると收拾がつかなくなるのではとも感じました。気象のことなら我々講師数人で対応できましたが、生物のこととなると、篠田先生ひとりでは、今回の人数でよかったですと思います。それにしても、子供達がセミやザリガニ、バッタなどを、楽しそうに素手でつかんで（女の子も！）観察している所がとても印象的でした。やはり、フィールドワークは、今後も取り入れて行きたいです。

⑧ 夏休みこども環境学習講座「気象予報士に学ぶ ストップ地球温暖化」(品川区主催)

品川区の依頼で、夏休み期間中3回にわたって地球温暖化防止をテーマにした小学生対象の出前教室を実施しました。出前教室は品川区環境情報活動センターでそれぞれ2時間行い、スライドの説明に加え実験やクイズも交えながら進めました。3回いずれも実験・工作を変えるなど多彩なメニューを子供たちに体験してもらい、最後には地球温暖化の小冊子等をプレゼントしました。



◆ 日時 2009年 7月24日(金)、 8月 8日(土)、 8月23日(日)

◆ 場所 品川区環境情報活動センター

◆ 内容 7月24日(金) 地球温暖化 こんなところにも影響が! ~竜巻を作ってみよう!~
アシスタント: 杉村友希さん

実験: 二酸化炭素実験、手回し・足回し発電実験、エコうちわ作り

8月8日(土) 地球温暖化とエネルギー ~エコうちわを作ろう!~

講師: 長島純子さん アシスタント: 吉村友宏さん

実験: 竜巻発生実験、海面上昇実験

8月23日(日) 地球温暖化 エネルギーと食べ物 ~雲画像地球儀を作ろう!~

講師: 鈴木秀美さん アシスタント: 渡部圭吾さん

実験: 手回しラジコンカー、フードマイレージクイズ、地球儀作り

⑨ 夏休み環境教育(伊藤忠商事株式会社主催)

伊藤忠商事株式会社の依頼で、小学生を対象とした「夏休み環境教育」を実施しました。コラボは今回で3年目。地球温暖化防止をテーマに約2時間の授業で、共立女子大学のボランティアの皆さんの協力のもと、たくさんの実験やクイズも交えながら進めました。最後には、未来絵日記を描いてもらい、参加者の中から2名程度、発表してもらいました。

◆ 日時 2009年 8月 3日(月)、 4日(火)

◆ 場所 伊藤忠商事株式会社本社ビル内

◆ 内容 講師: 鈴木秀美さん・田辺希さん(3日)、岡田亜子さん・福川理恵子さん(4日)

実験: 二酸化炭素実験、雲作り実験、海面上昇実験、二酸化炭素吸収実験、
手回し発電実験、未来絵日記

⑩ 羽生地球環境学校

2008年から始めた体験型環境教室を、2009年も埼玉県羽生市で2回行いました。地元で有機農業をされている雨読晴耕村舎・後藤雅浩さん、谷川拓也さんと協働で、自然の恵みに触れて地球環境について考える教室を行いました。

◆ 日時 2009年9月20日(日)、10月25日(日) 10時～15時

◆ 場所 埼玉県羽生市 糧工房

◆ 内容 第1回 「雨、雷、虹のふしぎ」

午前 小麦粉で雨粒をつかまえる実験、雷発生装作り 午後 ビオトープ作り

※ 参加者 35名(子ども19名、保護者16名)

第2回「自然エネルギーは おいしい! & たのしい!」

午前 堆肥作り、パン作り 午後 自然エネルギー体験、風車作り

※ 参加者 27名(子ども16名、保護者11名)



■ スタッフの感想

庄司 聡子さん

羽生での地球環境学校は、実際に自然と触れ合って学ぶ体験型の環境学習でした。

泥まみれになりながら雨の大切さについて学び、空の下で雲と虹の不思議について考えたり、体中粉だらけになりながらこねたピザの生地を、身近な自然エネルギーの薪を利用し焼き上げたりと、普段の生活ではできないような事を親子で体験してもらい楽しく環境について学んでもらえたと思います。子供達はもちろん一緒に参加した保護者の方の反応もとても良かったです。

そして私にとっても有意義でとても楽しい時間になりました。

⑪ 広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバル

広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルに環境ブースを出展しました。広島市のスポーツイベントとしては初めて「やさしい地球環境づくり」を目指したエコ活動を取り入れています。競技場の中では大縄跳びやリレーなど、各区対抗のさまざまなスポーツが行われていて、環境ブースにもユニフォームを着た子どもたちがたくさん参加してくれました。

◆ 日時 2009年10月11日(日)

◆ 場所 広島ビッグアーチ

◆ 内容 <参加者>

広島メンバー：波田健一さん、村上ゆみえさん、高野雅子さん

事務局：渡部圭吾さん

○実験紹介

たつまき実験、風力発電、手回し発電自動車、手回し発電電球

○ミニ出前授業（地球温暖化のお話）



■講師の感想

村上 ゆみえさん

2009年10月11日広島競技場ビッグアーチにて広島スポーツレクリエーションフェスティバルが行われました。このイベントで環境ブースをだすのは今年で2回目。競技の合間にいろんな方がブースを覗いてくださるのですが、子供たちが体験型の環境グッズに興味深深で楽しんでくれる姿を見るとうれしくなってきます。まだまだ小さい子はそのときはただ「おもちゃで遊んで楽しかった!!」という感覚しかないかもしれませんが、もう少し大きくなったときにこのイベントでの経験を思い出してもらえたら、そしてその子供たちにとってほんの少しでもいいので環境について考えるきっかけ作りになってくれたらいいなと思っています。

⑫ まなびピア埼玉2009

まなびピア（＝全国生涯学習フェスティバル）は、あらゆる世代の人たちが、学ぶ楽しさや大切さを感じ、学びのきっかけづくりを提供する全国規模の参加体験型のイベントです。今年その第21回が埼玉県で行われ、「生涯学習体験広場」に出典して実験などの活動紹介をしました。平日は社会見学の小中学生、休日は親子連れのお客さんが多く、たくさんのお子さんたちに実験の体験をしてもらうことができました。

- ◆ 日時 2009年10月30日(金)～11月3日(火・祝)
- ◆ 場所 さいたまスーパーアリーナ
- ◆ 内容
 - ・モニターでの活動紹介
 - ・地球温暖化実験（シャープ授業のもの）
 - ・紫外線実験（ブラックライト使用）
 - ・雷実験（発電素子を使用）
 - ・竜巻発生装置
 - ・雨粒浮遊装置
 - ・手回しNゲージ
 - ・風力発電



■ スタッフの感想

飯沼 孝さん

WCNのイベント参加は、まなびピアの趣旨でもある「参加体験型のイベント」を大いに盛り上げたのではないのでしょうか。WCNの出展内容は、すべて意義のあるものでした。

たとえば、うちわによる風力発電実験や手回しでNゲージを動かすという体験では、大人も子供も電気を作ることの大変さを実感し、ゆえに省エネの大切さを学ぶことができました。雨粒実験では、意外と知られていない雨粒の形を知って、正しい知識を得ることができたのではないのでしょうか。模擬竜巻は、そのままでは視覚に訴えるだけで終わってしまうところを、興味深い解説を加えることで、竜巻の恐ろしさを伝えることができましたと思います。

このようなWCNの活動をもっと多くの人に知ってもらうために、活動紹介ビデオをじっくり見てもらいたいと思いますが、そのために、モニタの前に椅子を何脚か並べておくのはどうでしょうか。また、パンフレットや冊子などを積極的に手渡し、学校関係者ならば、活動内容をその場で紹介することもできるかもしれません。

⑬ エコプロダクツ2009

エコプロダクツは、日本最大の環境展示会で、多くの企業や団体が環境に関する技術やサービス、活動についての展示を行います。気象キャスターネットワークも、2008年に引き続き出展し、多くの方々に活動を知ってもらうとともに、様々な企業や団体との交流をすることができました。

◆ 日時 2009年12月10日(木)～12月12日(土)

◆ 場所 東京ビックサイト

◆ 内容 パネルでの活動紹介、クロマキー体験、竜巻発生装置、手回し・風力・太陽光発電で動くNゲージ、足こぎ発電で動くダンシングサンタを展示



■ スタッフの感想

蓬莱 大介さん

じつは私は今回、はじめてエコプロダクツ2009のような環境イベントに参加させていただきました。合間の時間にひととおりのブースをみて回りました。印象的なのが、今回のエコプロダクツで気象についての出典は、このWCNだけだったことです。

これは誇りに思えることだと感じています。

クロマキーを使ったキャスター体験では、気象キャスターたちによるブースならではのもので、2歳の子供から大人まで幅広く喜んでもらえました。実際に気象キャスターが放送でのエピソードなどを話したりすることで、より興味を持っていただけました。

手回しで電気を作って動かす鉄道模型では、子供が手回し列車と風力発電・太陽パネルとの列車と競争していました。「はあ、はあ・・・疲れた。自然エネルギーすげえ！」

そんな一言を聞いてスタッフとしてにんまりしてしまいました。

雲を実際に目の前で作る、模擬竜巻を目の前で見る。こういう『体験』を提供することが、WCNの意義であると改めて感じました。

これからもWCNの活動が、出会う人たちに知識以上の『体験』を残せていけたらと思います。

(3) 日本財団助成事業 海の安全コンテンツ作成

日本財団の助成事業で、海辺で遊ぶ楽しさ、海辺の危険、安全に遊ぶための知識・技術などを子どもたちに伝えることを目的とした映像コンテンツを制作中で、そのための取材や実験、資料収集を行いました。来年度以降には、制作したコンテンツを基に出前授業やイベントを行うことも想定しています。

◆ 活動内容

- 神奈川県藤沢市 新江ノ島水族館 ビーチクリーン&ビーチコーミング 取材
- 兵庫県美方郡香美町 「NPOたじま海の学校」 海の安全教室 取材
- 京都府京丹後市 琴引浜の鳴き砂 取材
- 神奈川県横浜市 第三管区海上保安本部 防災基地プール
ライフジャケット着用の体験、人工波の体験、流水で泳ぐ実験
- 鹿児島大学 西隆一郎教授 離岸流についてインタビュー
- 愛知県豊橋市 表浜海岸 ウミガメ 取材



兵庫県香美町 海の安全教室取材



新江ノ島水族館イベント取材



第三管区海上保安本部防災基地プールでの実験



愛知県表浜海岸 ウミガメの取材

(4) WWFエコパートナーズ活動

2009年度WWFエコパートナーズ活動として、世界中から集まるWWFのニュースや話題、写真資料などを出前授業に活用するためのコンテンツ制作と、資料について説明するための研修を行いました。新しいコンテンツにより、世界の環境の現状についてより多くの事柄を子どもたちに知ってもらうことができます。また、来年10月に名古屋でCOP10が開催されるのを機に、生物多様性の保全をテーマに取り入れた授業内容を作成する予定で、WWFの動物たちの話題を貴重な資料として活用していきます。

◆ 活動内容

○WWFプロジェクト「温暖化の目撃者」のトピックスの活用するための資料制作

○資料内容についての研修会（東京、名古屋、札幌、大阪）

研修会に参加していただいた会員の皆様、ありがとうございました。

<制作したコンテンツの一部>

温暖化の目撃者 climate WITNESS

<http://www.wwf.or.jp/activity/climate/world/witnes/index.htm>



© PORC

**たくさん積もった雪は、やがととけします。
雪がとけて、巣は水びたしになってしまいました。**

温暖化の目撃者 climate WITNESS

<http://www.wwf.or.jp/activity/climate/world/witnes/index.htm>



© 2008 Daniel J. Cox/NaturalExposures.com

**仔グマの生存率も下がっています。
原因は母乳の栄養分の不足といわれています。**

6. 気象教育活動

2009年はたくさんの講座にご参加いただき、ありがとうございました。今年度もより多くの方々に学習していただける機会をご提供できるよう努力いたします。気象キャスターの地位向上のために、これからは現役気象キャスターの皆様には講師としてご協力をいただければ幸いに存じます。

(1) 気象キャスター育成講座

① 集中講座ビギナー講座

気象キャスターを目指す方を対象とした集中講座です。気象キャスターとして必要とされる基本的な知識や表現力を、短期間で幅広く学びます。座学が中心ですが、原稿作成やアナウンス訓練、クロマキーによるキャスター体験なども行いました。

日時：2009年 2月～ 4月（参加者3名）

10月～12月（参加者3名）

内容：気象キャスターって何？、予報用語を確認しよう、天気を解説しよう、
災害を防ごう、生活情報を伝えよう、魅力ある声で解説しよう、
画面で解説しよう（全8回）

② 集中講座マスター講座

クロマキーを使った実践的な集中講座です。現役キャスターを中心に毎回別の講師が担当、カメラテストを数多く経験し、より高度な表現力を養いました。

日時：2009年 1月～ 2月（参加者5名）

9月～10月（参加者5名）

内容：クロマキーシステムを使ったカメラテスト（全6回）



③ 気象予報士試験対策講座

- 1月10日（土）12:00～14:00 学科（専門）
- 1月11日（日）12:00～14:00 学科（一般）
- 1月17日（土）12:00～14:00 実技
- 1月18日（日）12:00～14:00 実技

新気象キャスター誕生！

気象キャスター育成講座を受講され、会員としても活動されていた高野雅子さんが、2009年度から広島テレビの気象キャスターとして出演されることになりました。今後も少しでも皆様の夢実現のお手伝いできれば幸いです。

■広島テレビで気象キャスターを担当して

高野 雅子さん

去年の4月から広島テレビの気象キャスターをしています。そこでは、月曜日から金曜日までの夕方ニュースの中で2回出演があり、子どもの頃から馴染みのある「ヤン坊マー坊の天気予報」を担当しています。

毎日のネタ探しは大変ですが、気象や天気に関わりのある季節の風物詩などの取材に、時折出掛けては、そのレポートを楽しんでいます。台風・大雨・雪情報など天気予報のコーナー以外でも注意や警戒を呼びかける必要があるときは、ニュースの原稿も書くことがあるので、自分自身の勉強にもなりますし、大変やり甲斐もあります。

的確な予報を心がけ、視聴者に分かりやすく信頼していただける気象キャスターを目指してまいります。

(2) 講座・研修会・見学会

2009年も会員の皆様に知識・技術を高めていただきたための講座・研修会・見学会を開催いたしました。2010年も、このような機会をもっと増やしていきたいと考えています。ご要望やアイデアがございましたら、お気軽に事務局にお寄せください。

1月18日(日)	「正しく知ろう地球温暖化」 講師 近藤純正 氏 (東北大学名誉教授)
2月21日(土)	「宇宙から見た地球環境の変化」 講師 寺澤勝也 氏 (宇宙航空研究開発機構(JAXA))
2月21日(土)	「地球温暖化の最新情報」 講師 石原幸司 氏 (気象研究所)
2月22日(土)	「地球温暖化の影響について」 講師 肱岡靖明 氏 (国立環境研究所)
3月15日(日)	「地球温暖化とヒートアイランド」 講師 三上岳彦 氏 (首都大学名誉教授 帝京大学教授)
4月18日(土)	「紫外線の強さと、肌への影響について」 (大塚製薬株式会社協賛) 講師 市橋正光 氏 (同志社大学教授)
5月15日(金) ～16日(土)	気象環境ツアー「浜岡原子力発電所見学」
7月 2日(木)	局地的大雨に関する説明会 (気象庁)
7月 9日(木)	熱中症セミナー (大塚製薬株式会社協賛) 講師 村山貢司 氏 (気象業務支援センター) 堀江正知 氏 (産業医科大学) 星秋夫 氏 (桐蔭横浜大学)
9月 5日(土)	「土砂災害や土砂災害警戒情報について学ぶ会」 講師 國友優 氏 中村圭吾 氏 南哲行 氏 (国土交通省砂防部) 鷺尾洋一 氏 (気象庁予報課)
12月 6日(日)	「ひまわり画像講習会」 講師 黒田雄紀 氏 (元気象庁)
7月～9月	「エネルギー情勢説明会」 (東京、札幌、名古屋、大阪、福岡)

エネルギー情勢説明会

「エネルギー情勢説明会」を7月～9月に東京、札幌、名古屋、大阪、福岡で行い、現在の世界や日本のエネルギー事情や電気事業者の地球温暖化への取り組みなどについて、電気事業連合会や地元電力会社の方に説明をしていただきました。

気象環境ツアー「浜岡原子力発電所見学」

電気事業連合会と中部電力株式会社のご厚意により中部電力浜岡原子力発電所の見学ツアーを行うことができました。なかなか入ることのできない原子力発電所内部の中央制御室や原子炉、タービンなどを間近に見ることができ、大変貴重な体験ができました。また、北海道から九州まで全国の会員が集まり、意義のある交流の場ともなりました。

◆ 日時 2009年5月15日(金)～16日(土)

◆ 場所 静岡県御前崎市 中部電力株式会社 浜岡原子力発電所

◆ 内容

- ・前日に参加者懇親会
- ・御前崎測候所の見学
- ・浜岡原子力館の見学
- ・浜岡原子力発電所5号機の見学
(中央制御室・原子炉・タービン など)

参加者 31名



■参加者の声

松井 渉さん

まだ気象キャスターネットワークに入らせていただいたばかりで、しかも九州からただ1人の参加でしたので、ほとんど初めてお会いする人ばかりだったのですが、とても楽しく測候所や原発の見学などさせていただきました。

原発でなぜ電気ができるのか結局わかったようなわからなかったような感じですが、原発の規模の大きさや、驚くほどにセキュリティが厳しいことが特に印象に残りました。これまで漠然としていた原発というもののイメージが少し具体的なものになったこと、そしてこの見学会のすぐ後にプルサーマル発電のための MOX 燃料が浜岡原発や佐賀県の玄海原発に届いたという記事をこれまでより興味を持ってじっくり読むようになったことは、大きな収穫だと思います。

7. 会員による講演活動

2009年も多くの自治体や企業、団体から講演の依頼をいただき、会員の皆様にご活躍いただきました。皆様、お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

- 1月 東京都水道局
名古屋市
- 2月 NPO 法人サイカチネイチャークラブ
長野県小諸市
- 3月 三鷹市
東京大学
国分寺市教育委員会
日本科学未来館
- 4月 三鷹市消費者活動センター
- 5月 株式会社 毎日新聞社
株式会社 NHKプロモーション
北陸建設リサイクル協会・新潟県アスファルト合材協会
三重県産業廃棄物協会
さいたま市教育委員会
豊島区
- 6月 株式会社 伸和エージェンシー
埼玉県
宮城県登米市
神奈川県
群馬県中室田小学校
横浜市鶴見区

7月 さいたま市教育委員会

8月 横須賀市教育研究所

株式会社 NHKプロモーション

9月 小金井市公民館本町分館

NPO法人 環境ネットワーク埼玉

10月 朝霞市中央公民館

東京都環境局

宮城県公衆衛生団体連合会

11月 NPO法人 フロンティアテクノセンター

福岡県筑紫野市

町田市選挙管理事務局

宮城県

12月 草加環境推進協議

<敬称略>

8. 2010年の活動予定

- 1月 「チャレンジ25キャンペーン」キックオフイベント参加
アメリカ気象学会で活動紹介
気象キャスター集中講座（マスターコース）
気象解説原稿作成講座
- 2月 定期総会
- 3月 こども環境学習講座（品川区環境情報センター委託）
発電所見学講座（中部電力株式会社委託）
気象キャスター集中講座（ビギナーコース）
- 4月 地球温暖化防止の小学校環境教育（シャープ株式会社協働）
日産わくわくエコスクール（日産自動車株式会社協働）
熱中症・紫外線の出前授業（大塚製薬株式会社協働）
温暖化教育波及効果調査モデル事業（環境省・神奈川大学協働）
日本財団助成事業「海の安全」モデル授業
- 5月 農と気象を考える親子自然体験講座（埼玉県）
尾瀬気象環境ツアー（協力：東京電力株式会社）
気象キャスター集中講座（マスターコース）
- 6月 エコライフ・フェア2010
空の不思議と温暖化、そして身近なエネルギー（東京電力株式会社委託）
- 7月 こども環境学習講座（品川区環境情報センター委託）
- 8月 青少年のための科学の祭典（東京、電気事業連合会委託）
なごや環境大学 生物多様性講座
- 9月 気象キャスター集中講座（ビギナーコース）
- 10月 広島市スポーツレクリエーションフェスティバル
- 11月 気象キャスター集中講座（マスターコース）
- 12月 エコプロダクツ2010

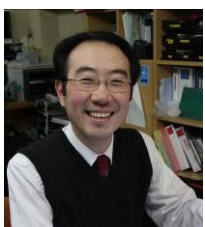
9. 事務局だより



岩谷 忠幸

事務局長

気象キャスターネットワークは気象キャスターや気象業務従事者、気象予報士など多くの会員、そして、私たちの活動にご理解をいただいた企業や団体など、多くのご支援によって、これまで地球温暖化や気象の知識普及啓発についての活動の幅を広げてまいりました。日本の経済情勢は厳しいままで、社会貢献活動を行うには財政的に厳しい状況が続くと思われませんが、「地球環境のメッセンジャー」になるという信念をもって、今後も精力的に活動を続けていきたいと思っております。少ないスタッフで事務局を運営しているため、活動内容や情報公開が不十分な面もありますが、事務局一同、今年も頑張っていきますので、温かい目で見守っていただければ嬉しく思います。

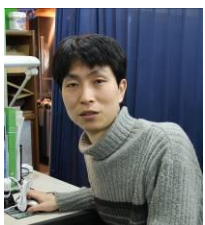


田代 大輔

事務局次長 担当業務：企画営業、イベント統括

2010年のキーワードは「絆」。

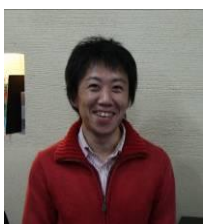
人との絆、地域との絆、自然との絆を大切にしていきたいと思っています。



水越 祐一

担当業務：資料作成、企画運営、出前授業・イベントサポート

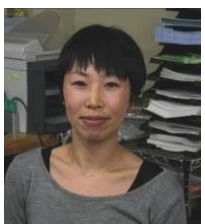
昨年4月に事務局に入ってもうすぐ1年、全国各地の会員の皆様と一緒に活動する機会に恵まれて、たくさんのことを学ばせて頂きました。今年もよろしくお願い致します。



渡部 圭吾

担当業務：会員管理、グッズ販売（今年は売ります！）、出前授業日程調整、イベントサポート

事務局スタッフになり2年が経ちました。今年も多くの皆様とイベントや授業でご一緒できることを楽しみにしています。そしていつも、毎日の「旬なニュース」をお読み頂きありがとうございます！



庄司 聡子

担当業務：会計、出前授業・イベントサポート

今年も会計業務と出前授業、イベント等のサポートを楽しくやっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



藤宮 郷

担当業務：財務・会計、システム運用・管理、プログラム開発、原稿講座、
実験器具開発、模型作製、家具組立て、旅行行程見積、カメラマン等々
ほとんど気象ではない業務を行っていますが…。皆様を陰ながらサポートしていきたいと思っています。 よろしくお祈りします。



川瀬 宏明

担当業務：ホームページ管理、システム構築
事務局に関わり始めて数年、ここ最近の当会の急速な発展に驚いています。
今年はこれまで以上に、どんどん新しいことにチャレンジしていければと思います。

事務局について

お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。お待ちしております。



〒110-0002

東京都台東区上野桜木1-14-21

高遠レジデンス上野桜木 202号室

TEL : 03-5832-9401

FAX : 03-5832-9402

MAIL : info@weathercaster.jp

JR 山手線 鶯谷駅から徒歩7分

地下鉄千代田線 根津駅から徒歩15分

本書作成にあたりコメントをお寄せいただいた皆様、誠にありがとうございました。編集の都合で校正させていただいた部分もございます。何卒ご了承ください。